

岐阜イノベーション工房2019運営管理委託業務プロポーザル募集 に関するご質問への回答

(2019年2月27日現在)

整理番号 1

質問項目	仕様書 20 ページ (7) 実習プログラムの運営管理業務 (3 か月間) の「イ. プロトタイプ製作フォローアップ業務」に関する質問
質問内容	「必要に応じて、演習プログラムに関わった技術スタッフや相応の技術スタッフ等を現地に派遣するなど効果的なフォローアップを行うこと。派遣等によって生じる謝金及び費用弁償は、受託者において負担すること。なお、当該派遣は、1 チームにつき 2 回(1 回 4 時間まで)を上限とし、～【中略】。」 と記載されておりますが、この派遣は企業からの要望がなくても自主的に実施するものでしょうか？ また、内容によっては、現地派遣までは必要ない場合もあると思います。その際に、現地派遣ではなくオンラインミーティングや宿題をもらって、遠隔からのサポートという形でも問題ないでしょうか？
回答	特別な問題事案がない状況では、電話やメールのほかオンラインでのミーティングなど、遠隔でのディスカッションや情報共有による支援を想定しています。 しかしながら、本事業は新規事業創出という極めて困難な場面を伴うミッションに取り組むものであり、参加者が企業内調整や取り組みに時間がかかる場合が考えられます。 また複雑な製造工程や企業内環境の確認など、現地によってでなければ確認が難しい場面などが考えられます。 このように、企業等からの要請がなくとも、現地派遣が適切な方法であると受託者が判断された場合は、企業等へ提案を行っていただき、より効果的な事業実施を目指していただくことを期待するものです。

整理番号 2

質問項目	仕様書 23～24 ページ (10) 事業内容の記録・啓蒙業務に関する質問
質問内容	仕様書の 23 ページと 24 ページにかけて、写真と動画の製作基準が細かく記載されておりますが、写真と動画はクオリティによって、かかる費用が大きく変わってきます。昨年度や過去に撮影されたサンプル写真や動画があれば、見せていただくことは可能でしょうか？どれくらいのクオリティのものを想定してプランを策定すべきか参考にするためです。
回答	あらゆる場面で使用できるものであることは望ましいですが、画像及び動画については、例示として、以下の場面での使用を想定しています。 ・フライヤー制作 ・ポスター制作 ・プレゼン用スクリーン投影 ・雑誌掲載 ・論文等資料 ・動画配信 ・プロモートPV制作 ・マスコミ取材画像・動画提供

	過去の使用実績については、以下を参照してください。 ○岐阜イノベーション工房 2018 レポート：演習プログラム篇 https://www.iamas.ac.jp/report/gifu-innovation-kobo-01/ ○岐阜イノベーション工房 2018 (You Tube IAMASchannel 限定公開) 2018 年度に実施した事業「岐阜イノベーション工房 2018」のうち、2018 年 8 月末から 11 月頭にかけて実施した「演習プログラム」までについてまとめた途中経過報告の動画です。（詳細は上記レポート記事参照） https://www.youtube.com/watch?v=-5Xsj_CVt5Y
--	--

〔ご連絡、お問合せ先〕

情報科学芸術大学院大学事務局教務課

〒503-0006 大垣市加賀野 4-1-7

TEL：0584-75-6600 ／ FAX：0584-75-6637

e-mail: jimukyoku@ml.iamas.ac.jp